



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山田 美鈴

令和7年4月11日

第1号

令和7年度のスタートにあたり



校長 山田 美鈴

今年の桜は新年度のスタートに合わせるように、7日の始業式、8日の入学式で美しく満開に花を咲かせていました。校庭の桜もみごとです。

校長として本校に着任し早1年が経ちましたが、おかげさまで素直で明るい生徒たちに囲まれ、毎日充実した生活を送ることができています。これもひとえに子どもたちの成長を常々支えてくださっている保護者の皆様のご協力のおかげと感謝いたします。

今年度本校の生徒数は新入生216名、2年生212名、3年生207名、計635名（I組を含む）でのスタートです。

始業式では「タンポポ」の花を取り上げ式辞としました。「タンポポ」は見た目は小さく目立ちませんが、長ければ地中に1mほどの根を張り、崖やのアスファルトの隙間でさえ、逞しく咲く花です。「タンポポ」の花言葉は「幸せ」・「真心の愛」。きれいに咲いた後は、綿毛となって土ある場所どこにでも逞しく根を張ろうとします。そんな「タンポポ」のように、私も皆さんに真心の愛情をもって、幸せを運んでいけるような存在になりたいという話をしました。

入学式では式辞の中で「竹」の成長を中学生期の成長に喩えて話しをしました。竹は1本に60個ほどの節があり、その節が成長期に一気に伸びます。また強風だろうが雪が覆いかぶさろうが折れずに跳ね返すほどの強さがあるのは地下茎が繋がっているからです。人間の成長も心や体が一気に成長する中学校の3年間。仲間とのつながりによって、どんな困難があろうとも乗り越えていきます。石神井中学校という素晴らしい集団の中で、仲間とともに助け合い成長していきましょうという話をしました。

さて新年度最初の学校だよりですので、改めて本校の教育目標に触れたいと思います。

1 「明るく健康な生徒」

健康とは心も体も健康であるということです。予測不可能な事態や困難が立ちはだかったとしても、明るく前向きに進んでいくことで、道は拓かれていくものです。他者との関りを大切にして、明るく元気な生活を送ってほしいものです。

2 「正しい判断力を持ち、主体的に行動する生徒」

善悪の判断のみならず、よりよく生きていくための判断力は、中学時代に培っていききたい力です。そして正しい判断のもと、自信をもって主体的に行動することで、自己肯定感が高まり卒業後の進路に向けての道が拓けていきます。義務教育9年間の総仕上げをし、社会にはばたく人材となって本校を巣立っていけるよう頑張ってもらいたいと願っています。

3 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

学校では様々な体験や活動を通して、豊かな情操を身に付けていきます。他者との出会いはもちろんのこと、文化・芸術・スポーツとの出会いを通して、豊かな情操と品位ある人材と成長していく3年間であってほしいと願っています。

今年度の学校経営計画につきましては、改めて保護者会でご説明させていただきます。本校教職員一丸となって、生徒の成長のため尽力してまいります。今年度もよろしくお願いいたします。